

傍聴席からひとこと

No. 42

私が 議会に望むこと



浦邊 榮一 さん  
川向町・68歳

震災後3年3カ月が経過し、議会運営に進歩が見られるのかなと思いたるべく出席するようにしているのだが、相変わらず勉強している議員とそうでない議員の質問の内容・質の差があると感ずる。私だけであろうか。議会での質問の内容によっては事前に調査すれば分かることであり、その上で質問すべきでないだろうか。議員自身が党派を越え勉強し、通年議会とは言わないまでも顔を合わせ本気になり質疑内容を精査して質問してほしい。

町民が一度議会を傍聴して、もう一度と来てみようかと議会に足が向かないのはなぜであろうか。考える必要がある。議員は山田町民の代表である。3月・6月議会で予算が可決し、復興に向けてようやく動き出したと実感湧く。そうした中で、これから議会と山田町、町民が一体となるためには町内の防災行政無線をもっと少し活用し、町民の方に周知する必要がある。そこで朝のあいさつから始めたらどうか。また、議員と町民の意思の疎通が不可欠であり、さらに実施してもらいたいものである。犠牲になられた方たちのためにも、山田町・議会・町民が一丸となり山田魂を見せ、正念場はこれからである。

議員の出欠状況

(第3回臨時会後から7月15日までの定例会、臨時会、常任委員会、特別委員会)  
※紙面の関係から、活動の一部を抜粋して掲載しています。

日付・会議名等		議員名													
		木村 洋子	黒沢 一成	田村 剛一	阿部 吉衛	尾形 英明	豊間根 信	佐々木良一郎	坂本 正	山崎 泰昌	本木 敏明	阿部 幸一	吉川 淑子	稲川 勝憲	昆 暉雄
4月8日	議会広報編集特別委員会	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
16日	議会広報編集特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月7日	復興やまだ応援事業調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月13日	第4回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	復旧・復興特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○
5月29日	議会改革検討特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月10日 ~12日	第2回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	総務常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10日	教育民生常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	産業建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会広報編集特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25日	議会広報編集特別委員会	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月3日	議会広報編集特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

口…公務欠席 ◇…病気(通院、入院等)欠席 欠…自己都合欠席 △…遅刻早退 /…委員外 ◎…委員外出席

あともがき

▼現在、議会内では議員定数削減に向けて議論をしておりますが、その一番の理由は人口減少にあります。これまで山田町議会は選挙ごとに定数を2人ずつ減らしてきました。今後の議会運営にとって果たして何人が妥当なのか。議員は支持者や選挙区に向き、町民の皆さんの意見や考えを聞いていくところであります。▼議員数を減らすメリットは議会費の縮減ですが、デメリットは何でしょうか。民意の反映に不備が生じることも考えられます。もちろん、決められた人数の中で不備の解消の努力も必要なのは当然ですが、おのずと限界もあります▼民主主義の原点は選挙であると言われる。その選挙で選ばれる議員数の決定は慎重でなければなりません。来年9月の改選期までの間、ここはじっくりと時間をかけて検討することが必要かと思えます。(本木)

議会広報編集特別委員会

- 議長 昆 暉雄
- 副議長 黒沢 一成
- 委員 山崎 泰昌
- 委員 尾形 英明
- 委員 坂本 正
- 委員 木村 洋子
- 委員 阿部 吉衛
- 委員 豊間根 信
- 委員 佐々木良一郎
- 委員 稲川 勝憲
- 委員 吉川 淑子
- 委員 阿部 幸一
- 委員 本木 敏明